

国立大学法人東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所教員募集要項（文化人類学）
2025-03-25

1. 採用予定者

助教 1名

2. 所属

アジア・アフリカ言語文化研究所

3. 勤務場所

（雇入れ直後）東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学府中キャンパス
（変更の範囲）変更無し

4. 職務内容

（雇入れ直後）

(1) （日本を除く）アジア・アフリカに関する研究

(2) 研究所の運営に関する業務

（変更の範囲）

テニユア取得後に、新たに大学院の授業科目担当および大学院生の研究指導、大学の運営に関する業務が加わる。

5. 採用条件

任期 5 年、再任不可。

ただし、任期 4 年目以降に審査を経てテニユアを取得し、准教授に昇任できるテニユア・トラック制が設けられている。

6. 応募資格

(1) 応募者は、アジア・アフリカにおける十分な臨地調査の経験があり、モノ、身体、社会性に関わる人類学的研究に従事している研究者であること。学際的研究に意欲がある者、東アジア、南アジアまたは西アジアに関連する研究を行っている者がより望ましい。

(2) 応募者は、博士の学位を有する者、または、採用予定日までに取得見込みの者とする。

(3) 応募者は、研究遂行上、アジア・アフリカ地域と緊密な接点を保持していることを条件とする。

(4) 応募者は、本研究所が重点を置く研究活動および諸事業を担い、かつその発展に寄与す

ることができる者とする。

(5) 応募者は、本研究所の共同利用・共同研究課題を積極的に推進し得る者とする。

※ 同時期に本研究所で募集している中東分野の教員公募との重複応募も認める。その場合、書類はそれぞれ別に用意し、提出すること。

7. 採用予定年月日

2026年4月1日

なお、相当の理由があれば、着任時期について考慮することがある。

8. 勤務条件等

(1) 給与

年俸制（年俸額は職務経験や業績等に基づき決定し、年俸額を12月で割った額を毎月支給）。税金及び社会保険料（雇用保険料、共済組合掛金）の自己負担分を控除する。

(2) 勤務形態

専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当）

(3) 休日・休暇

国立大学法人東京外国語大学職員勤務時間、休暇等に関する規程による。

休日：原則として、土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）。

ただし、業務の都合上、上記休日を勤務日として勤務することがある。

休暇：年次有給休暇、病気休暇、特別休暇

(4) 社会保険

文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入する。

(5) 試用期間

あり（6か月）

(6) 退職手当

支給あり

(7) その他の就業条件については、国立大学法人東京外国語大学の規則及び関連規定に従う。

9-1. 提出書類①

(1)～(6)までのすべてをPDF形式で提出すること。各ファイル名に応募者の氏名を含めること。

(1) 履歴書 1通

- 市販の横書き用紙（もしくは、それに準ずるもの）を使用し、顔写真を添付する。

- 1 ページ目の左上に「文化人類学」と明記する。
- 住所のほかメールアドレスを明記する。
- 学歴の末尾に、研究において使用できる言語を記載する。

(2) 博士学位記の写し、もしくは、博士学位請求論文を提出し受理されていることを証明する文書の写し 1 通

(3) 研究経歴 1 通

- 用紙サイズ A4 判、横書き 日本語 4000 字以内または英語 1600 語以内。
- これまでに交流を持ってきたアジア・アフリカにおける研究機関、およびアジア・アフリカを研究対象とする研究機関があれば、それに言及すること。また、本研究所の共同研究に参加した経験がある場合は、それに言及すること。

(4) 研究計画書 1 通

- 用紙サイズ A4 判、横書き 日本語 4000 字以内または英語 1600 語以内。
- 次の 2 点についても必ず記載すること。
 - (i) 共同利用・共同研究の国際的拠点である本研究所でどのような共同研究を組織するか。
 - (ii) 本研究所の基幹研究「社会性の人類学的探究：トランスカルチャー状況と寛容／不寛容の機序」においてどのような研究活動を行うか。モノ、身体、あるいは社会性に着目した人類学的な研究によって、どのような貢献をするかについても触れること。

なお、本研究所の共同研究等については研究所ウェブサイト

<http://www.aa.tufs.ac.jp/>を、基幹研究「社会性の人類学的探究：トランスカルチャー状況と寛容／不寛容の機序」については、<https://anthropology.aa-ken.jp/>を参照のこと。

(5) 業績一覧表 1 通

(6) 参考意見を聞くことのできる研究者 2 名の氏名・所属・連絡先一覧 1 通

9-2. 提出書類② 主要業績 3 点

すべて PDF 形式で提出すること。各ファイル名に応募者の氏名を含めること。

10. 選考方法

第1次審査として書類選考を行い、第1次審査合格者を対象として面接による第2次審査を行う。

面接は7月6日（日）を予定。面接対象者には6月下旬までに電子メールにて連絡する。
（面接の際の交通費は支給しない）

11. 選考結果通知

2025年11月上旬（予定）

通知は電子メールにて行う。

12. 提出方法・応募締切

応募締切：**2025年5月30日（金）**までに、以下の(1)及び(2)を完了してください。

提出書類は、それぞれPDF化したあと、1つのフォルダにまとめ、ZIPファイルにしてアップロードをしてください。

(1) ILCAA 教員採用登録フォームへのご登録及び提出書類①のアップロード

ILCAA 教員採用登録フォーム（文化人類学）

<https://sanda.tufs.ac.jp/kenkyu/recruitment-aal/j/>

(2) 業績3点提出用フォームへの提出書類②のアップロード

業績3点提出用フォームのURLは、ILCAA 教員採用登録フォーム上に記載されているほか、ILCAA 教員採用登録フォーム入力後に、応募者にURLの記載されたメールが届きます。

(3) 応募完了のメール通知

上記(1)及び(2)のアップロード完了後、本研究所から応募者宛に確認のメールを送付します。

アップロード完了後、1週間（土日祝日を除く）以内にメールが届かない場合には、下記13のメールアドレス宛に連絡してください。

13. 本募集に関する問合せ先

jinji-aa@tufs.ac.jp

- 質問については、必ず電子メールでお願いします。

- メール不着の事例がありますので、問い合わせ後3日（土日祝日を除く）以内にこちらからの返信がない場合は、再度電子メールにてお問い合わせください。
- 電話によるお問い合わせには、お答えできません。

14. その他

- (1) 本公募に関連して提出された個人情報については、本学の規程に従って適切に管理し、選考の目的以外には使用しません。
- (2) 本学では男女共同参画を推進しております。
- (3) 受動喫煙を防止するための措置：敷地内禁煙（屋外喫煙場所あり）